

令和7年度 小学生すくすくウォッチの結果と分析について

実施日：令和7年4月16日(水)～4月24日(木) 八尾市教育委員会

1. 令和7年度小学生すくすくウォッチの概要について

(1) 目的

- 子どもたち一人ひとりが、学びの基盤となる言語能力や読解力、情報活用能力等を向上させ、これからの予測困難な社会を生き抜く力を着実につけることを目的とする。

(2) 対象

小学校第5・6学年、義務教育学校前期課程第5・6年生

(3) 内容

●教科等に関する問題

小学校第5学年、義務教育学校前期課程第5年生：国語・算数・理科・教科横断型問題

小学校第6学年、義務教育学校前期課程第6年生：教科横断型問題

●児童アンケート

児童自身の目標に向かって頑張る力、気持ちをコントロールする力、人と関わる力、次の学びや生活にいかす力、好奇心等に関する内容や学習状況、学級や授業等に関する意識等のアンケート

●教員アンケート

教員自身の授業や指導、学校や学級の様子や取組み等に関するアンケート

(4) 調査結果の取り扱いに関する配慮事項

- 教科等に関する問題及び児童アンケート、教員アンケートの結果については、本テストの趣旨・目的を達成するため、適切に取り扱うものとする。

2. 八尾市の調査結果について

(1) 小学生すくすくウォッチを行った学校数と児童数

■ 市立小学校27校、義務教育学校前期課程：第5学年

(国語1,912名 算数1,915名 理科1,913名 教科横断型問題1,912名)

■ 市立小学校27校、義務教育学校前期課程：第6学年(教科横断型問題2,039名)

(2) 児童への個人票(ウォッチシート)の返却日

返却基準日 令和7年8月25日(月)～令和7年8月29日(金)

(3) 教科等に関する問題に関する結果について

<第5学年(国語・算数・理科)の正答率比較>

	平均正答率(%)		対大阪府比	
	八尾市	大阪府	R7	R6
国語	68	69.2	0.98	0.97
算数	66.6	67.9	0.98	0.93
理科	58.5	59.8	0.98	0.96

<教科横断型問題(第5・6学年)の正答率比較>

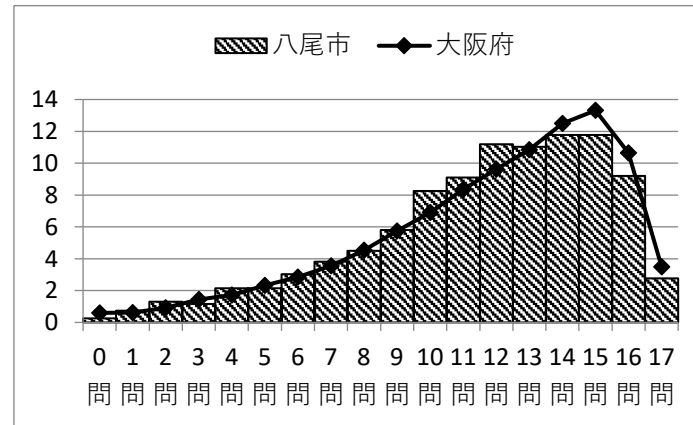
	平均正答率(%)		対大阪府比	
	八尾市	大阪府	R7	R6
5年	66	66.5	0.99	0.95
6年	71.9	75.1	0.96	0.98
5・6年	69.1	70.8	0.98	0.96

<同一集団(令和6年度5年生と令和7年度6年生)における教科横断型問題の正答率比較>

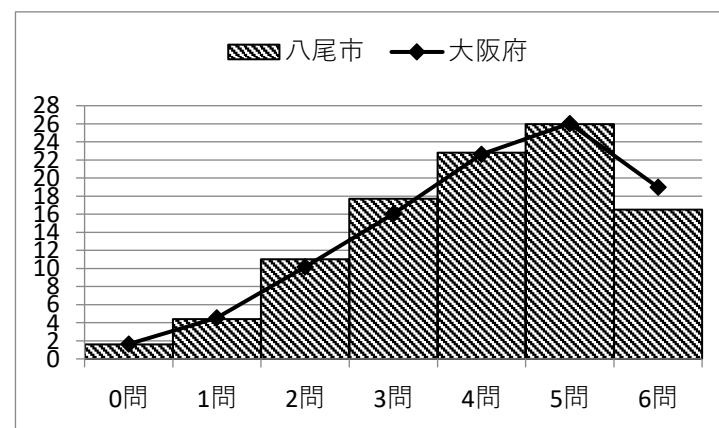
	R7年度6年	R6年度5年
平均正答率(%)	71.9	54.9
対大阪府比	0.96	0.95

3. 結果分析について

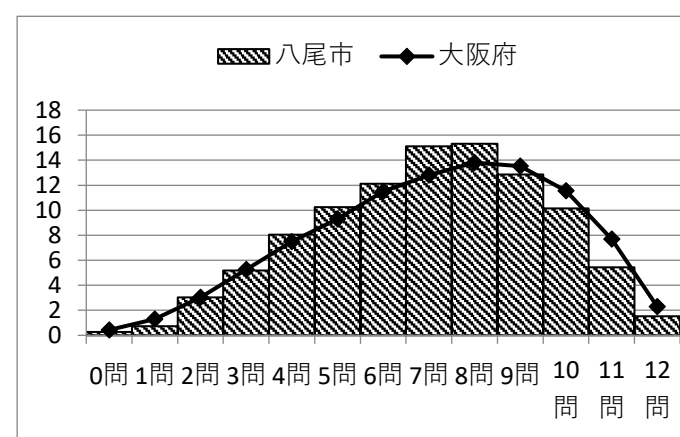
国語(第5学年)



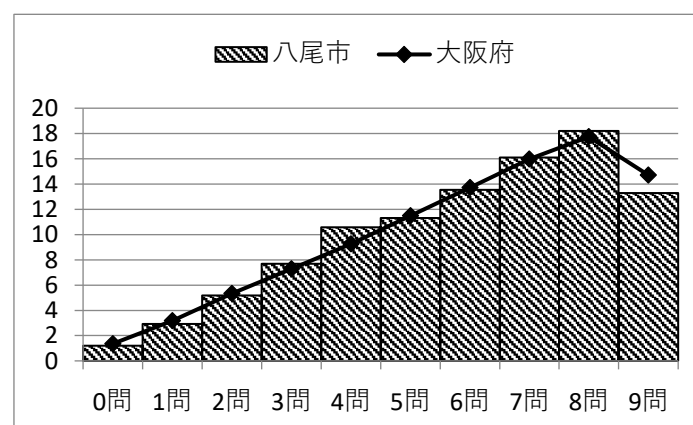
算数(第5学年)



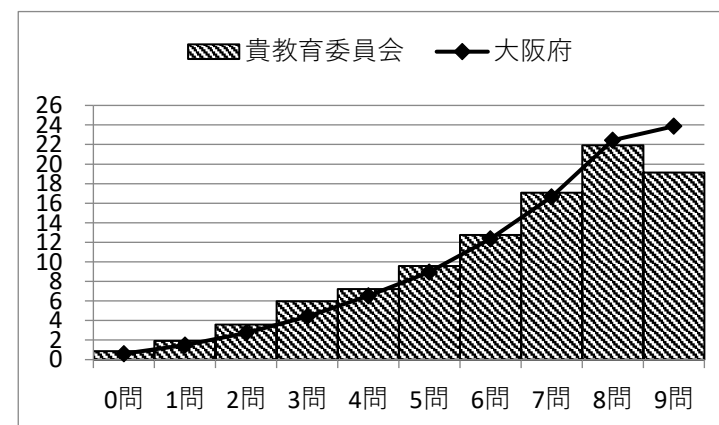
理科(第5学年)



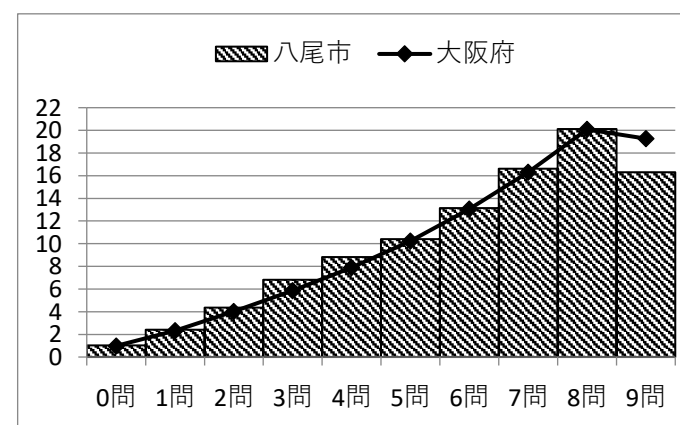
教科横断型問題(第5学年)



教科横断型問題(第6学年)



教科横断型問題(第5・6学年)



【国語】

○助詞を正しく使うこと、ローマ字を正しく書くこと、言葉の意味を正しく理解し、その反対語を理解すること、指示語の指示内容を捉えることができています。

◆主語と述語の関係に注意して述語を正しく書くこと、ことわざ・故事成語の意味を正しく理解すること、主語と述語の関係を捉えて文の内容を正しく理解することに課題がある。

【算数】

○図形を構成する要素の位置関係に着目して、2種類の三角定規を組み合わせてつくることのできる図形を考えることができています。

◆資料から読み取った内容と棒グラフが示している内容を関連づけ、理解することに課題がある。

【理科】

○水の蒸発、暖かい空気は上方へ流れる性質を理解し火事の避難時に取るべき姿勢を考えること、金属は温められると体積が増えることについて理解できています。

◆水の位置関係に関する性質を理解し、風呂場の床が傾いている理由と結び付けて考えること、直列つなぎと並列つなぎ、水のしみこみ方は土のつぶの大きさによって違うことを理解し、水たまりができなかった理由を書き表すことに課題がある。

【教科横断型問題(わくわく問題)】

【観点】

○図や表、グラフ、短い文章、会話文等の内容を関連付けて、正しくとらえたり、それをもとに自分の考えをまとめ、伝えることができる程度できています。

◆図や表、グラフ、短い文章、会話文等の内容を関連付けて、それをもとに新たな課題を考えること、興味・関心のある事からについて、意欲的に工夫して相手に伝えることに課題がある。

【問題をとらえる】

○文章、図や表から読み取ることがある程度できています。

◆会話から読み取ることには課題がある。

【伝える】

○資料の情報を整理して伝える、自身で考えたことを伝える、理由や根拠を明確にして伝えるといったすべての項目において、ある程度できています。

【問題形式】

・選択問題、記述問題ともに正答率の違いは見られず、ある程度できています。